北陸地方整備局　平成20年度事業計画　記者発表資料
参 考 資 料

◆治水関係 ･･････････････････････････ Ｐ１
　新潟県 ･･････････････････････････ Ｐ２
　富山県 ･･････････････････････････ Ｐ１１
　石川県 ･･････････････････････････ Ｐ１９
　山形県 ･･････････････････････････ Ｐ２６
　福島県 ･･････････････････････････ Ｐ２７
　長野県 ･･････････････････････････ Ｐ２９
　岐阜県 ･･････････････････････････ Ｐ３１

◆港湾空港関係 ･･････････････････････ Ｐ３２
　新潟県 ･･････････････････････････ Ｐ３３
　富山県 ･･････････････････････････ Ｐ３８
　石川県 ･･････････････････････････ Ｐ４３
　福井県 ･･････････････････････････ Ｐ４８

◆都市・住宅関係･････････････････････ Ｐ５３
　新潟県 ･･････････････････････････ Ｐ５４
　富山県 ･･････････････････････････ Ｐ５６
　石川県 ･･････････････････････････ Ｐ５８

◆営繕関係 ･･････････････････････････ Ｐ６０
　新潟県 ･･････････････････････････ Ｐ６１

◆治水関係

（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

柿川広域基幹河川改修事業の新規着手
新潟県長岡市

（かきがわ／にいがた　ながおか）

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

柿川(かきがわ)では、都市化の進展による雨水流出の増大及び河道断面の不足により、中小洪水でも浸水被害が頻発しています。そのため、浸水被害の軽減を目的に、現川河道の掘削と放水路の新設を実施します。

整備効果

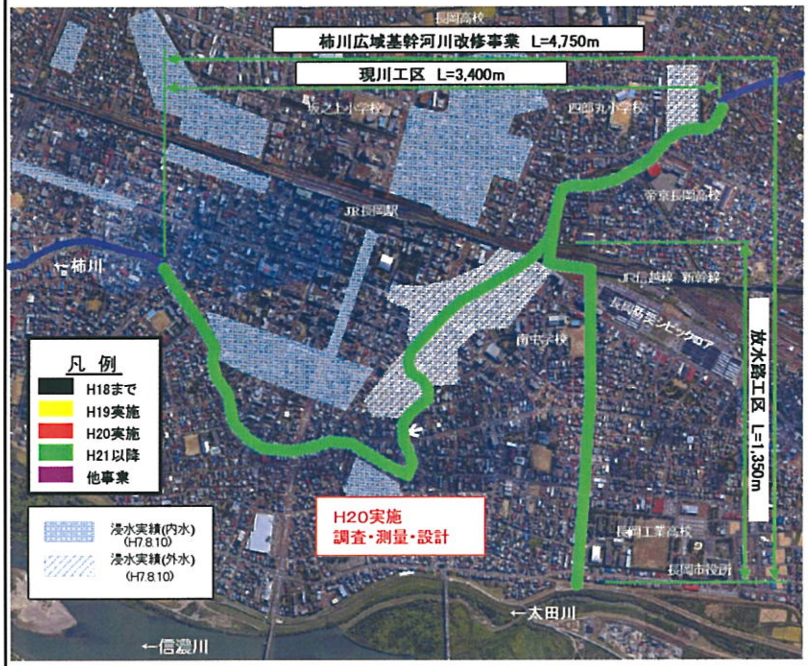
近年大きな被害が発生した平成７年８月の梅雨前線豪雨（床上浸水 19 戸、床下浸水 570 戸）規模の洪水において、浸水被害の軽減を図ります。

事業着手

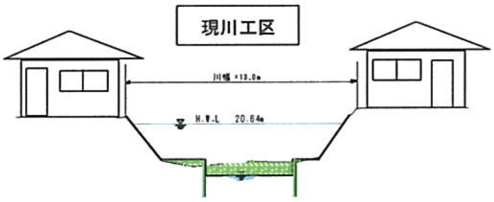
平成 20 年度

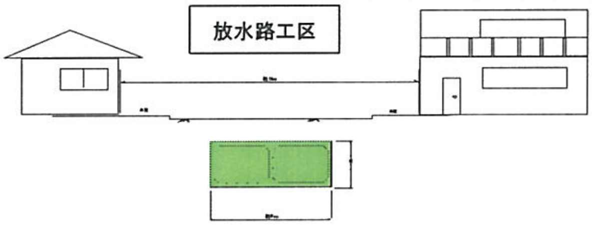
平成 20 年度の事業内容

早期工事着手に向け、調査・測量・設計を実施します。



H7.8.10洪水浸水状況





（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

白木海岸高潮対策事業の新規着手

新潟県佐渡市

●安全・安心な地域づくり

事業の概要

白木海岸は、新潟県佐渡市の南西端に位置し、「天然記念物及び名勝 佐渡小木海岸」「佐渡弥彦米山国定公園」に指定されている風光明媚な海岸です。当海岸の背後には、海岸線に沿って唯一の生活道路である市道が走っており、人家が建ち並ぶ地域であります。

近年、冬期風浪及び台風時に越波が激しくなり、たびたび市道の通行止めや人家等への甚大な被害が発生しています。

そこで、当海岸では人家や市道への越波・浸水被害を防止するため波浪制御施設である離岸堤等を整備します。

整備効果

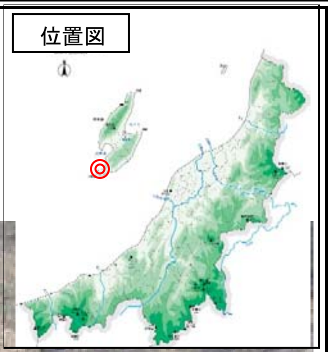
離岸堤、養浜等の海岸保全施設の整備により、越波による被害が低減するなどの整備効果が期待されます。

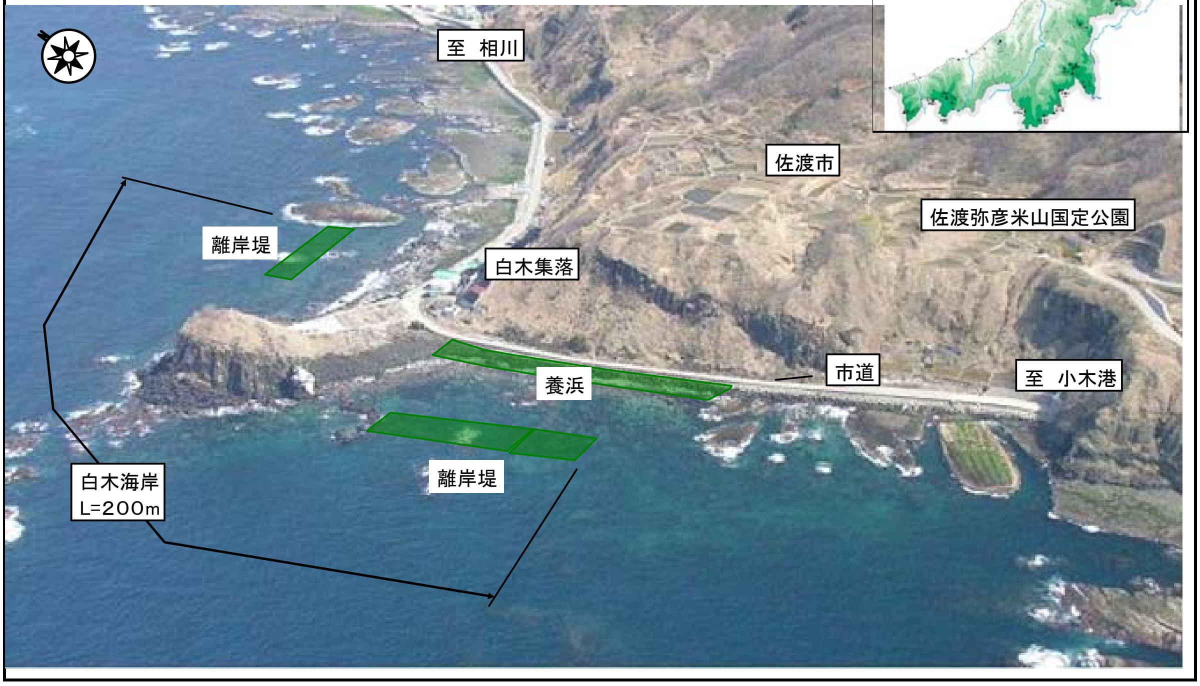
事業着手

平成２０年度

平成 20 年度の事業内容

平成２０年度から新規事業として南側離岸堤に着手します。





（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

信濃川下流、刈谷田川、五十嵐川の緊急治水対策の概成

新潟県新潟市（にいがたけんにいがたし）、三条市（さんじょうし）、加茂市（かもし）、長岡市（ながおかし）（旧中之島町（なかのしままち））他

●安全・安心な地域づくり

事業の概要

平成１６年７月１２日～１３日の梅雨前線豪雨（新潟・福島豪雨）により、信濃川下流の支川刈谷田川(県管理河川)、五十嵐川(県管理河川)では全半壊を含む床上床下浸水約１万棟、浸水面積約２，５００ｈａにおよぶ甚大な被害を受けました。

この災害に対し、国、県が連携して上下流一貫した緊急治水対策として、平成１６年度より直接被害のあった刈谷田川、五十嵐川においては「河川災害復旧助成事業（県）」が、また、同助成事業により流量増となる下流側の刈谷田川下流部（県）及び信濃川下流(国)においては、その受け皿確保として「河川災害復旧等関連緊急事業」を、それぞれ実施しています。

整備効果

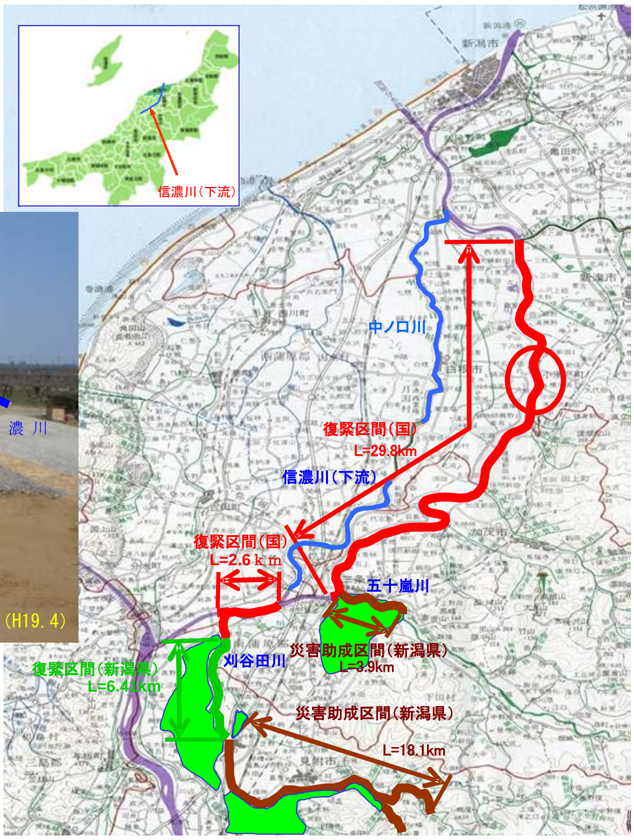
この事業の実施により、今回被害の大きかった三条市、見附市、長岡市（旧中之島町）はもとより新潟市をはじめとする信濃川下流域全体の治水安全度を向上させます。

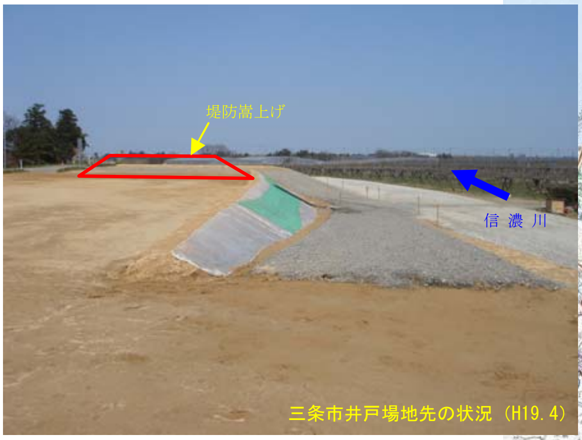
事業着手

平成１６年度

平成 20 年度の事業内容

築堤、河道掘削等を推進し、河川災害復旧等関連緊急事業の概成を予定しています。





三条市井戸場地先の状況（H19.4）

（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

才歩川（さいかちかわ）床上浸水対策特別緊急事業の完成

新潟県田上町（にいがたけんたがみまち）

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

才歩川（さいかちがわ）及び支川山田川（やまだがわ）は、河道断面が狭小で、洪水を安全に流すことができないため、洪水のたびに浸水被害が発生しています。そのため、浸水被害の解消を目的に、河道の拡幅及び橋梁の架け替えを実施しています。

整備効果

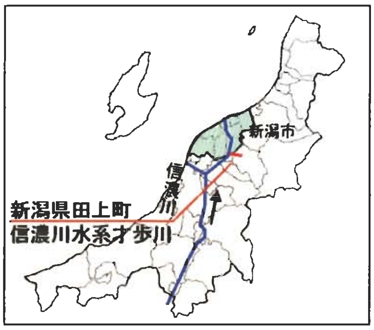
近年大きな被害が発生した平成 12 年 7 月の梅雨前線豪雨（床上浸水 75 戸、床下浸水 85 戸）規模の洪水において浸水被害の解消を図ります。

事業着手

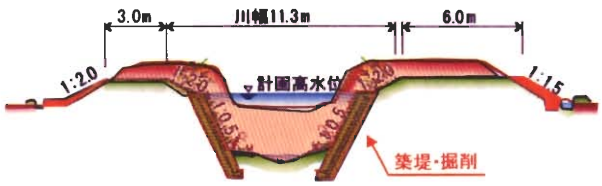
平成 14 年度

平成 20 年度の事業内容

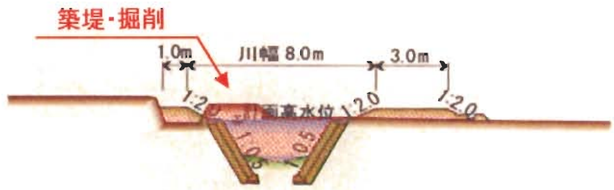
平成 12 年 7 月の梅雨前線豪雨で浸水被害が発生した才歩川と支川山田川について、河道の拡幅（築堤、河道掘削、護岸）及び橋梁の架け替えを実施し、事業の完成を目指します。



才歩川工区 標準断面図



山田川工区 標準断面図



（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

はやかわ

早川海岸侵食対策事業の完成

にいがた　むらかみ

新潟県村上市

●安全・安心な地域づくり

事業の概要

早川海岸は、新潟県北部の村上市北端部に位置し、背後には国道３４５号及びＪＲ羽越本線が並行しており、その国道と鉄道の間に人家が連担密集しています。

冬期間、典型的な西高東低の気圧配置になると、日本海側からの季節風が吹き荒れ、高波によって国道の通行止めが生じるほか､湾曲した海岸線であるため波浪で汀線の後退が著しい海岸です。そのため、波浪を減衰させ、背後の人家や国道への越波被害・侵食被害から守ることを目的に、沖合施設（人工リーフ・離岸堤）の整備を計画的に実施しています。

整備効果

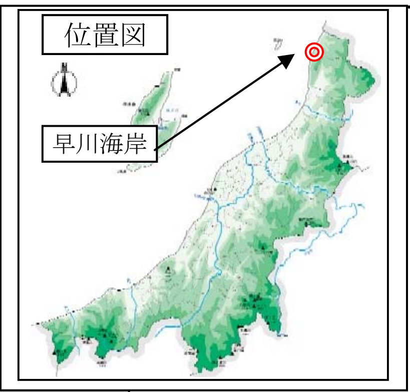
人工リーフの整備により、周辺の海浜は安定し、前浜は回復傾向に転じており、波浪による背後の国道や人家への越波被害は解消されています。

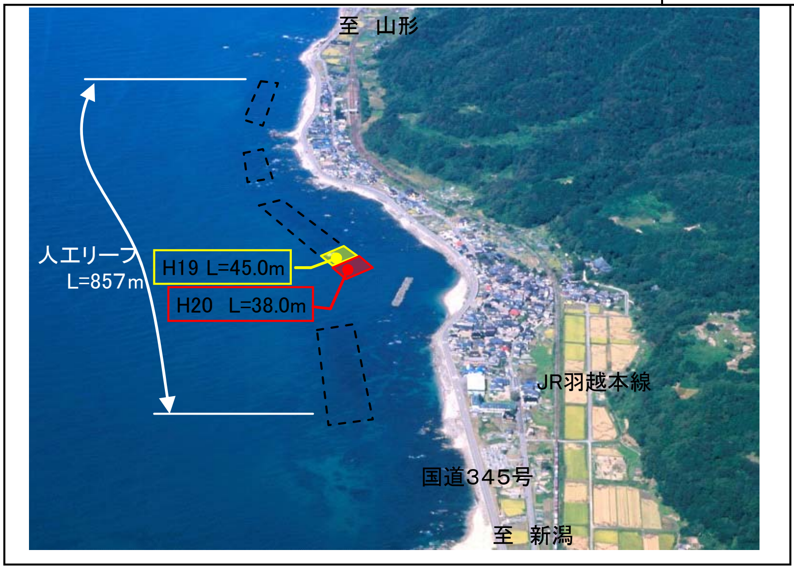
事業着手

昭和４６年度

平成 20 年度の事業内容

村上市早川地先の人工リーフ整備を実施し、事業の完成を予定しています。





（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

大河津可動堰改築の推進
（おおこうづかどうぜき）

新潟県 燕 市<旧分水町>
（にいがた つばめ ぶんすい）

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

大河津可動堰は、信濃川と大河津分水路の分派点に位置し、昭和６年に完成して以来、洗堰とともに大河津分水の根幹的施設（分流制御施設）として、治水，利水機能等に大きな役割を果たしてきています。しかし、設置後７０年以上経過し、施設本体の老朽化が顕著となるとともに、敷高等の影響により流下能力不足が生じており、その抜本的対策が急務となったことから改築事業に着手しています。

整備効果

老朽した施設を改善し、併せて河道掘削を行うことにより信濃川の治水安全度を向上させます。

事業着手

平成１５年度

平成 20 年度の事業内容

本体堰柱及び堰に架かる管理橋の上部工等を推進します。

70年以上を経過した大河津可動堰

新堰の完成イメージ

（新規・完成・主要）主要事業箇所（直轄・補助）事業

きんえいちょう

直轄新潟海岸（金衛町工区）の事業推進

にいがた　にいがた

新潟県新潟市

●安全で安心な地域づくり
●住みよい地域づくり

事業の概要

新潟海岸金衛町工区（延長約２．９㎞）は、海岸侵食の進行が著しく、海底地形の侵食傾向が沖合にも進行し、施設被害が頻発しています。海岸侵食による新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあることから、侵食制御と砂浜安定化を図るため、平成１９年度から直轄海岸保全施設整備事業により、ヘッドランド、人工リーフ及び養浜を組み合わせた保全対策を実施しています。

整備効果

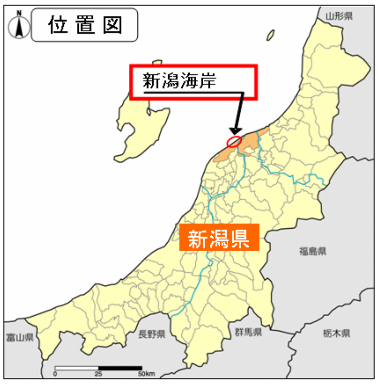
海岸保全施設整備を実施し、波の打ち上げ高を低減させ、背後地の安全度を向上させます。

事業着手

昭和５２年（金衛町工区は平成１９年度～）

平成 20 年度の事業内容

平成１９年度より直轄による海岸保全施設整備に着手した金衛町工区において、ヘッドランドの整備と養浜を推進し、背後の安全度の向上を図ります。



金衛町工区全景（平成17年11月）

■金衛町海岸被災状況

平成18年9月撮影

（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

信濃川下流水系芋川における直轄砂防事業・直轄地すべり対策事業の推進

新潟県長岡市、魚沼市、小千谷市、川口町

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

信濃川水系魚野川右支川の芋川は、平成１６年１０月に発生した新潟県中越地震により、流域内で多数の山腹崩壊や地すべりが発生しました。それに伴い、多くの河道閉塞が発生し、特に被害の大きい１１地区については直轄災害関連緊急事業により緊急的に整備を進め、平成18年度中に完成しました。また、地すべりについては著しい被害を受けた１９地区で平成18年度より直轄地すべり対策事業に着手し、整備を進めています。

平成19年度は、集落再生地域や主要生活道路等の保全を行うとともに、農地復旧にかかる支援を行い、安全で安心な地域の復興を支援します。

整備効果

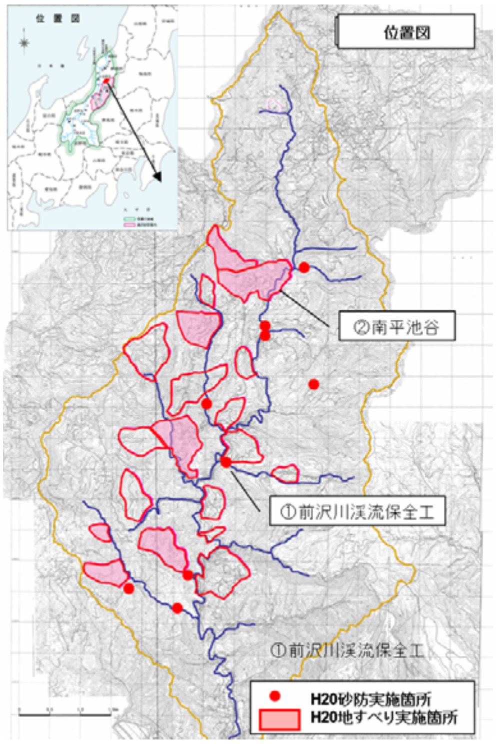
不安定土砂の流出抑制及び下流域の安全確保、地すべり区域の安全度の向上及び下流域の安全確保をするとともに、地域の地震災害復興を支援します。

事業着手

平成１６年度（砂防）、平成１８年度（地すべり）

平成 20 年度の事業内容

地域の復興計画に配慮した砂防・地すべり事業を実施します。



①前沢川渓流保全工

②南平池谷

（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

和田川総合開発事業（広神ダム）の促進

新潟県魚沼市

●安全・安心な地域づくり

事業の概要

広神ダムは、洪水の調節（魚沼市の洪水防御）、流水の正常な機能維持、及び発電（新潟県企業局）のために、一級河川信濃川水系破間川支川和田川の新潟県魚沼市（旧広神村）小平尾地内に多目的ダムを建設する。

整備効果

和田川流域に７０年に１度程度の大雨が降った場合でも、約３７０ｍ³／秒（流入量約４１０ｍ³／秒、放流量約４０ｍ³／秒）の水を貯め込み洪水調節を行い、和田川沿川（魚沼市）の９４８ｈａを洪水から防御する。

渇水時に、河川維持流量の確保等、流水の正常な機能を維持する。

事業着手

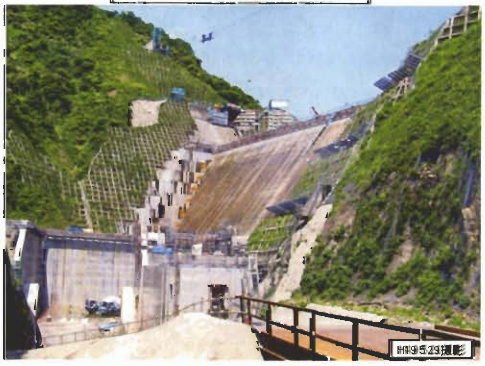
昭和６１年度

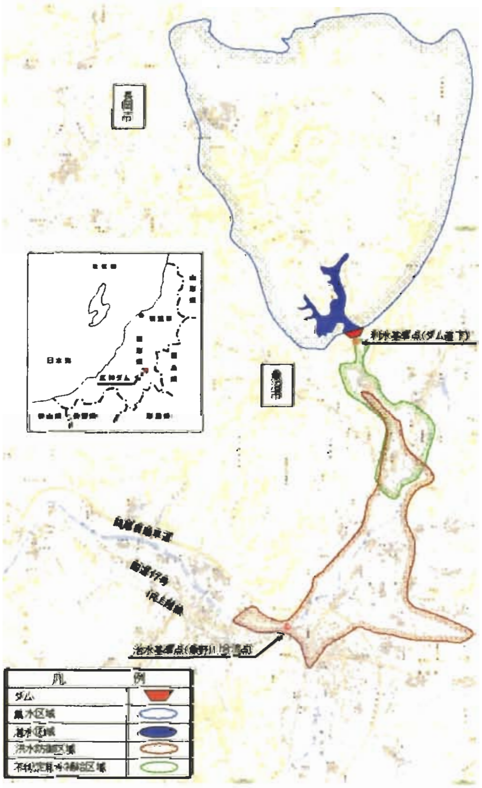
平成 20 年度の事業内容

平成 20 年度中に本体ダムコンクリート打設を完了し、管理設備工を促進します。

15-新潟県 広神ダム
ダムサイト(上流から望む)

15-新潟県 広神ダム
ダムサイト(下流から望む)





（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

熊野川ダム施設改良事業（熊野川ダム）の新規着手

富山県富山市

●安全・安心な地域づくり

事業の概要

熊野川ダムは、洪水の調節（富山市の洪水防御）、流水の正常な機能維持、及び発電（富山県企業局）のために、一級河川神通川（じんづうがわ）水系熊野川（くまのがわ）の富山県富山市手出、赤倉地内に設置されている多目的ダムの施設改良事業を実施する。

整備効果

熊野川流域に大雨が降った場合でも、洪水を貯め込み洪水調節を行い、神通川沿川（富山市）を洪水から防御する。

渇水時に、河川維持流量の確保等、流水の正常な機能を維持する。

事業着手

平成２０年

平成 20 年度の事業内容

常用洪水吐改造詳細設計等

（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

小矢部川水系前高（まえたか）川砂防事業の完成

富山県小矢部（おやべ）市

●安全・安心な地域づくり

事業の概要

小矢部川水系前高川は平成１０年に土砂流が発生した土石流危険渓流です。

本事業は人家２戸、公民館（避難場所）、主要地方道小矢部津幡（おやべつばた）線を土砂災害から守るため、砂防えん堤及び渓流保全工を整備するものです。

整備効果

本事業の完成により、土砂災害から人家や公民館が守られるとともに、県道寸断による上流地区の孤立を防ぎます。

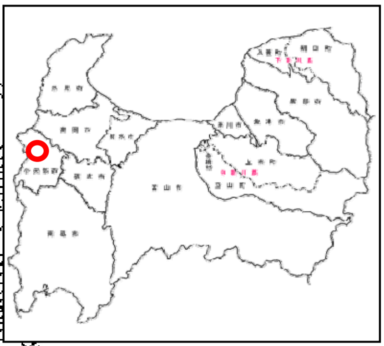
事業着手

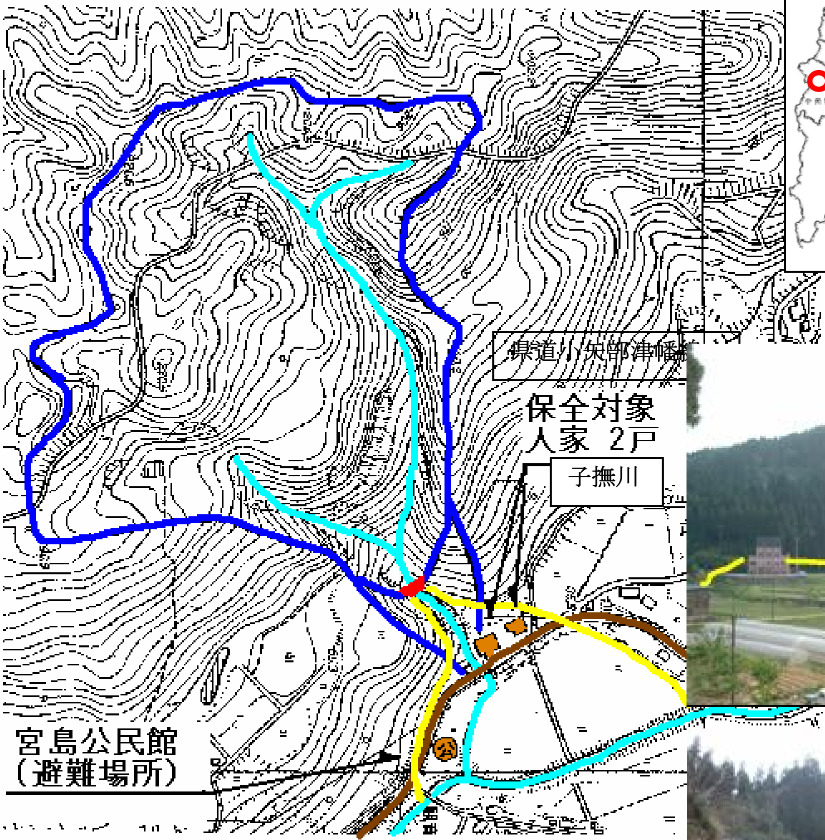
平成１４年度

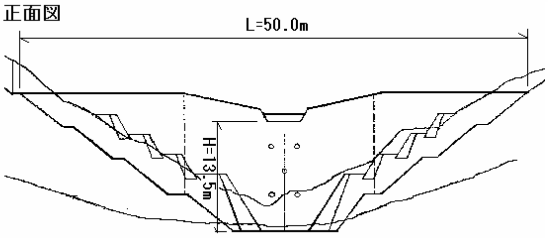
平成 20 年度の事業概要

本事業の基幹となるえん堤工の施工を実施し、完成を予定しています。

位置図







（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

じょうがんじがわきゅうりゅうかせんたいさく
常願寺川急流河川対策を推進
とやま　とやま
富山県富山市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

常願寺川は、日本有数の急流荒廃河川であり、洪水時には乱流・偏流が生じ河岸決壊等の危険が大きいため、これを防止し洪水を安全に流下させるための対策が急務となっています。

整備効果

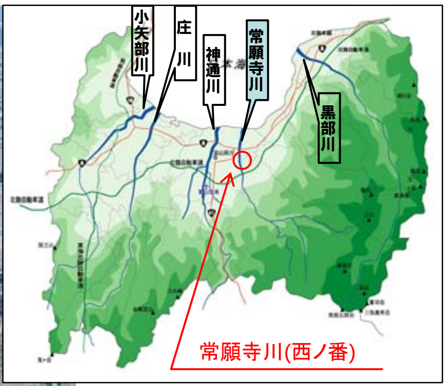
当該箇所は、左岸側の扇頂部となっており、ひとたび破堤すると被害は富山市街地にまでおよび、被害が甚大なものとなることから洪水時における侵食対策として、堤防腹付盛土工を推進し治水安全度を向上させます。

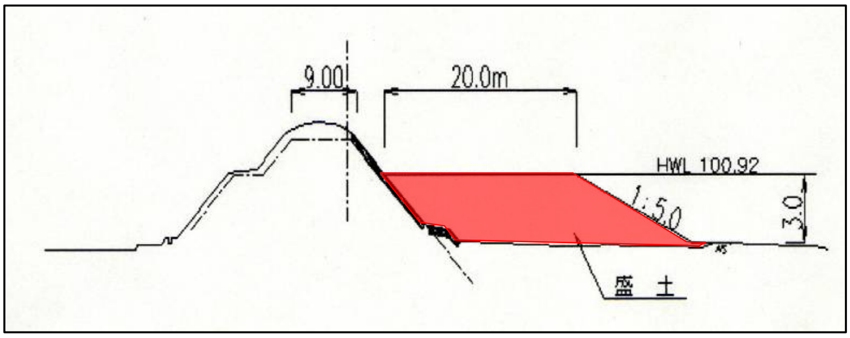
事業着手

平成１８年度

平成 20 年度の事業内容

堤防腹付盛土工等を整備し、早期完成にむけて事業を推進します。





（新規・完成・主要）主要事業箇所（直轄・補助）事業

直轄下新川海岸（第２工区、第５工区）の事業推進
富山県入善町・黒部市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

下新川海岸は、富山湾特有の「寄り回り波」や「冬期風浪」といった高波浪の影響で越波や海岸侵食の被害が生じており、平成２０年２月２４日の高波災害では、直立堤や離岸堤等の海岸保全施設が被災し、越波により背後地の家屋に浸水被害が発生しました。

このため、背後の住宅密集地を越波、侵食から守るため、副離岸堤及び透過型有脚式突堤の整備を実施します。

整備効果

副離岸堤及び透過型有脚式突堤の整備により、波浪の打ち上げを抑え、堤防前面の海浜断面を維持することで、冬期風浪等による災害を未然に防止します。

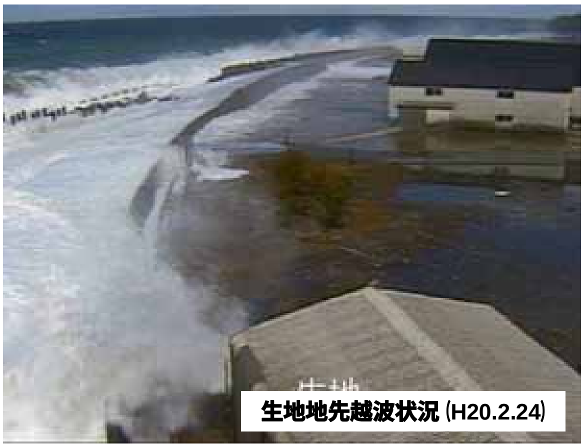
事業着手

昭和３５年度

平成 20 年度の事業内容

背後が家屋連旦部である第２工区八幡地先及び第５工区生地地先において副離岸堤及び透過型有脚式突堤を整備します。

位置図


生地地先越波状況（H20.2.24）

（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

富山平野を守る白岩砂防えん堤保全対策の整備推進

富山県富山市、立山町

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

白岩砂防えん堤は不安定な土砂を立山カルデラの出口で押え込むために建設され、立山カルデラ内にある砂防施設の基幹となるえん堤です。本えん堤は昭和14年に竣工しており、国の登録有形文化財に登録されています。しかし、竣工から60有余年を経過し施設の損耗が著しく、本えん堤が機能を失った場合、カルデラ内の土砂が富山平野に流出する可能性があるため、白岩砂防えん堤の保全対策を行います。

整備効果

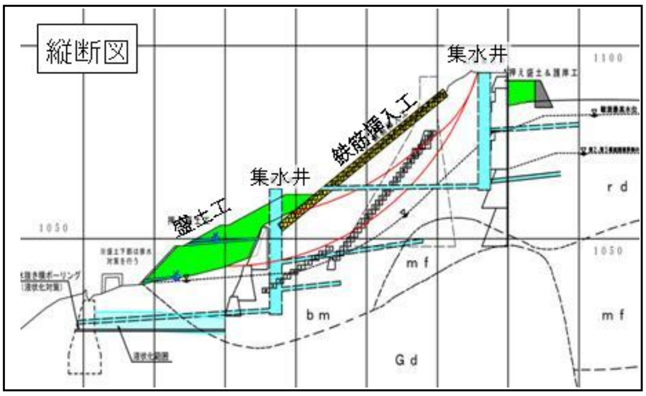
白岩砂防えん堤の保全対策を行い、立山カルデラ内の不安定土砂の流出抑制を行います。

事業着手

平成７年度

平成 20 年度の事業内容

左岸盛土部対策として、盛土工・集水井工・集水ボーリング工を実施します。



（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

利賀ダム事業の推進

富山県南砺市（とやま なんと）

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

利賀ダムは、「洪水調節」「河川利用及び河川環境保全に必要な流量の確保」「工業用水の供給」を目的とした多目的ダムとして建設が進められています。

整備効果

庄川流域の洪水被害の軽減を図るとともに、渇水時においても河川環境の保全に必要な流量を確保します。

また、工業用水の供給により、砺波地域の地域経済の発展に寄与します。

事業着手

平成元年

平成20年度の事業内容

庄川流域は、幾度となく洪水被害を受けており、近年では、平成16年10月の台風23号出水において、既往最大洪水を記録し、沿川３市町で避難勧告が発令されました。

利賀ダムの早期完成に向けて、ダム本体工事に必要な工事用道路整備及び必要な用地補償を推進します。

位置図

（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

白岩川広域基幹河川改修事業の促進

しらいわがわ

富山県富山市

とやま　とやま

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

白岩川（しらいわがわ）では、河道断面が狭小で洪水を安全に流すことができないため、過去にも浸水被害が発生しています。そのため、浸水被害の解消を目的に、河口部の導流堤等を実施しています。

整備効果

近年大きな被害が発生した平成 10 年 8 月の豪雨（床下浸水 130 戸）規模の洪水において、浸水被害の解消を図ります。

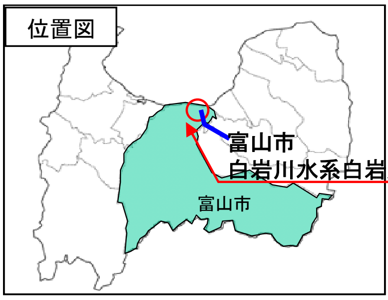
事業着手

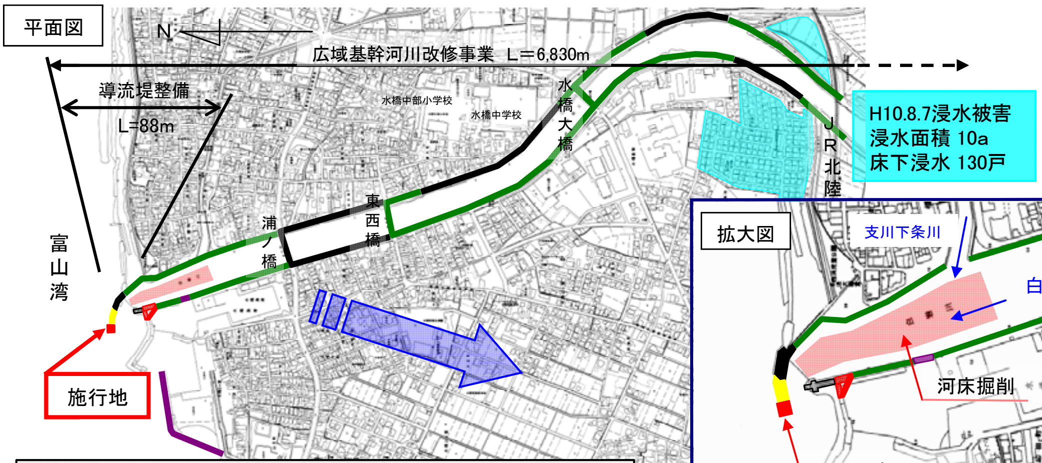
昭和 45 年度

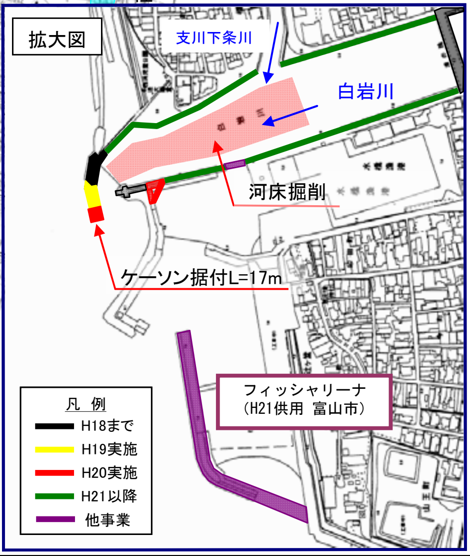
平成 20 年度の事業内容

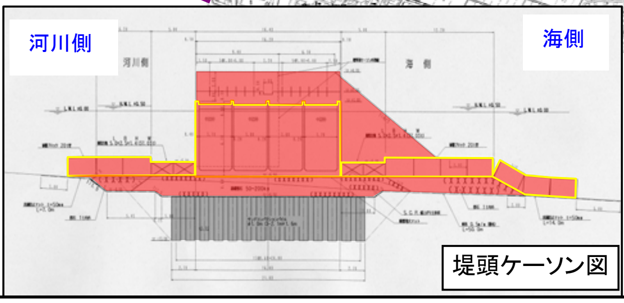
洪水の安全な流下を阻害している河口部について、導流堤及び河道掘削を概成させ、浸水被害の軽減を図ります。

浸水状況【平成10年8月】









（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

富山海岸侵食対策事業の促進

富山(とやま)県富山(とやま)市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

富山海岸は、富山湾沿岸の中央に位置し、背後には人家、学校、病院及び下水処理場等が点在している他、主要地方道富山魚津線が平行しています。さらにレクリエーション施設として広域自転車道、キャンプ場、海水浴場等があり広く県民に親しまれています。

しかし、現状は富山湾特有の寄り回り波や冬期風浪により海岸の侵食が著しく、一部では砂浜が消失しつつあります。

そこで、侵食防止及び背後地への越波防止を図るとともに、景観、海浜の利用及びアクセスの向上を目指した施設を配置し、背後地の利用にも考慮した海岸の整備を進めています。

整備効果

離岸堤、人工リーフ、緩傾斜護岸等の海岸保全施設の整備により、砂浜が回復し越波による被害が低減するなどの整備効果が現れています。

事業着手

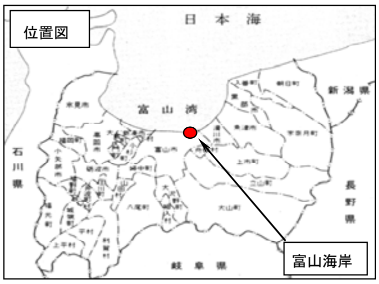
昭和４１年度

平成 20 年度の事業内容

概ね砂浜が回復してきていますが、富山市浜黒崎地先においては一部侵食が進んでいます。

このため富山市浜黒崎地先の人工リーフ整備を実施し、早期完成にむけて事業を促進します。

位置図



（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

押水・羽咋海岸侵食対策事業の新規着手

石川県宝達志水町

●安全・安心な地域づくり

事業の概要

押水羽咋海岸は、全域的に侵食傾向であり、特に今浜地区は近年急激に侵食が進行しています。能登地域と金沢地域を連絡する重要な幹線道路である「能登有料道路」の道路途絶及び背後の家屋連担部への侵食被害を防止するために、早急な対策が必要です。

整備効果

能登半島国定公園内に位置することから、風光明媚な海岸景観にも配慮し、人工リーフ及び養浜工を整備することにより、侵食被害（能登有料道路の道路途絶、民家・土地消失）の防止を図ります。

事業着手

平成２０年度

平成 20 年度の事業内容

平成２０年度から新規事業として人工リーフに着手していきます。

（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

梯川（かけはしがわ）河川改修事業の推進

石川県小松市（こまつ）

●活力を育む地域づくり
●安全で安心な地域づくり

事業の概要

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している 1.0km～7.6km 迄（前川合流点～鍋谷川合流点間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。また、改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

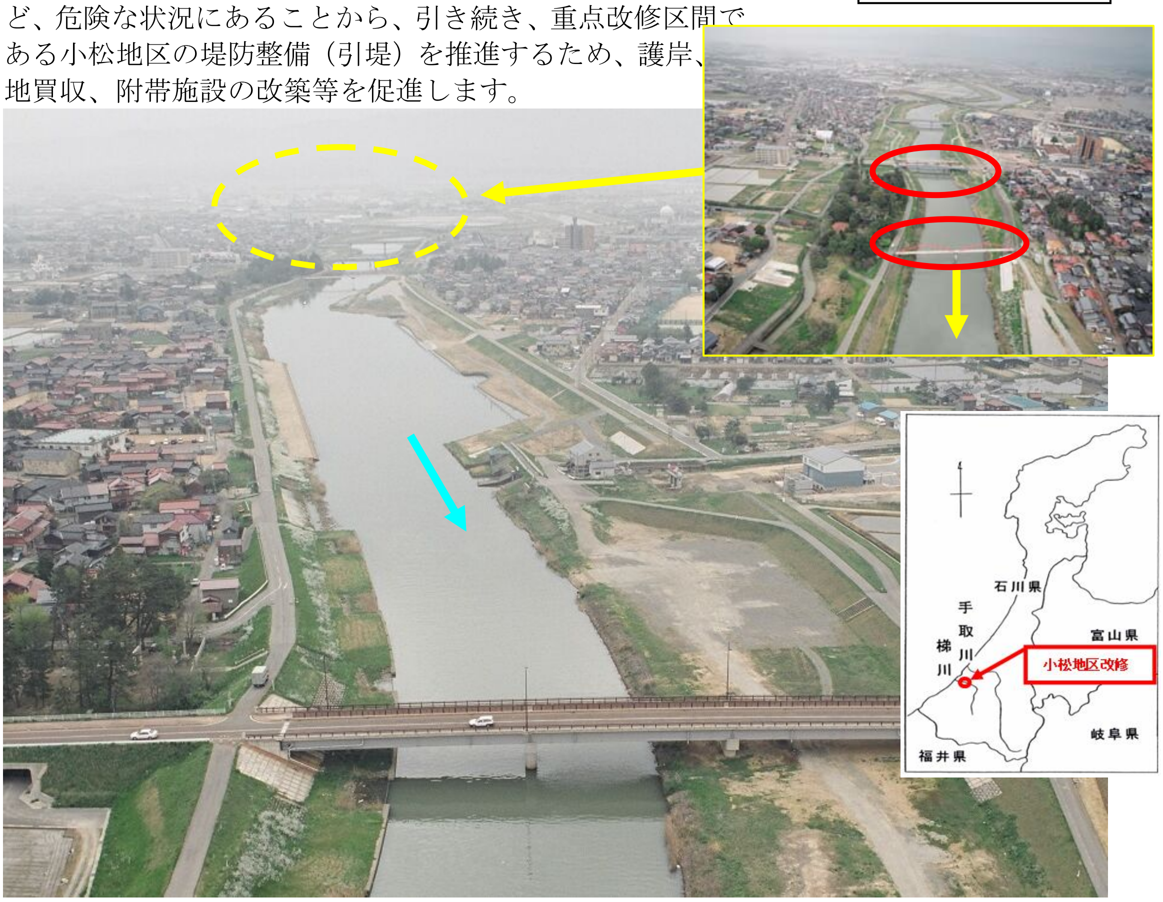
事業着手

昭和４６年度

平成 20 年度の事業内容

平成 18 年 7 月の梅雨前線豪雨出水では危険水位を超えるなど、危険な状況にあることから、引き続き、重点改修区間である小松地区の堤防整備（引堤）を推進するため、護岸、用地買収、附帯施設の改築等を促進します。

附帯施設の改築



（新規・完成・主要）主要事業箇所（直轄・補助）事業

直轄石川海岸（小松工区）の事業推進

石川県小松市（いしかわけんこまつし）

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

小松海岸、片山津海岸は石川県の小松市、加賀市にわたる海岸で、侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。

そのため、小松海岸、片山津海岸を平成１６年６月に直轄石川海岸の区間として延伸、平成１６年度より直轄工事に着手し、抜本的な侵食対策を行っています。

整備効果

人工リーフの整備により、高波浪時において当該地区背後の健康広場や北陸自動車道等を越波、侵食被害から守ることができます。

事業着手

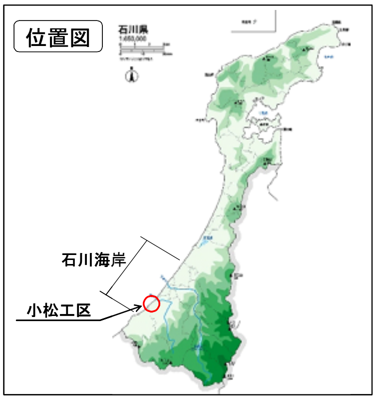
昭和３６年（小松工区、片山津工区は平成１６年度～）

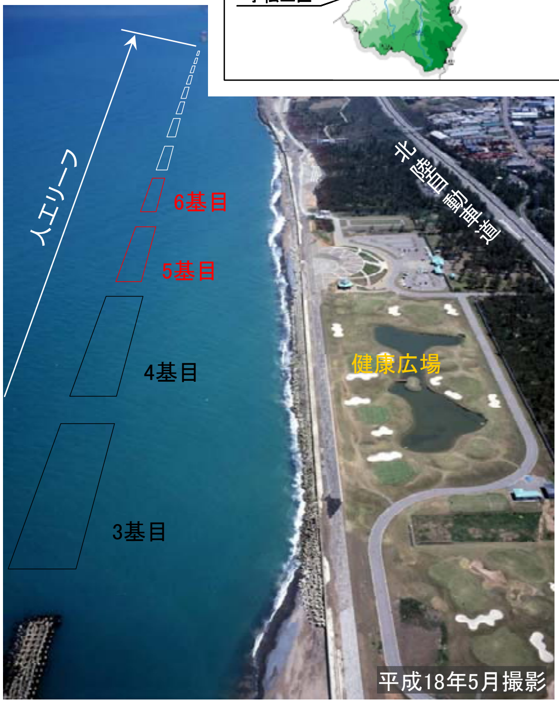
平成 20 年度の事業内容

毎年波浪により堤防護岸の決壊や、堤防天端陥没等の被害が相次いでいる小松工区において、５基目の人工リーフの暫定断面を完成させ、６基目の人工リーフに着手します。

小松工区浜佐美地先での護岸被災状況（平成19年1月）

小松工区安宅新地先での護岸被災状況（平成17年11月）





平成18年5月撮影

（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

甚之助谷（じんのすけたに）地区地すべり対策事業の整備促進

石川県（いしかわ）白山市（はくさん）

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

甚之助谷（じんのすけだに）地すべりは、手取川（てどりがわ）の源流である日本３名山のひとつ白山の標高 1,600～2,400mに位置する全国でも希な高山地にある大規模な地すべりで、現在も年間 10cmを超える活発な活動を継続しています。また、昭和９年７月の手取川大水害時には別当谷（べっとうだに）の地すべりブロックなどの活動による土砂流出により、下流の白峰（しらみね）村(当時) などに死者・行方不明者 112 名という大きな被害をもたらしました。

このため、大規模な地すべりに起因する大量の土砂流出による手取川ダムの治水機能の低下の防止、沿川集落や観光資源である白山へのアクセス道の保全のため、地すべり対策を実施します。

整備効果

地すべり区域の安全度を向上させることにより、地すべり土塊の移動を抑制します。

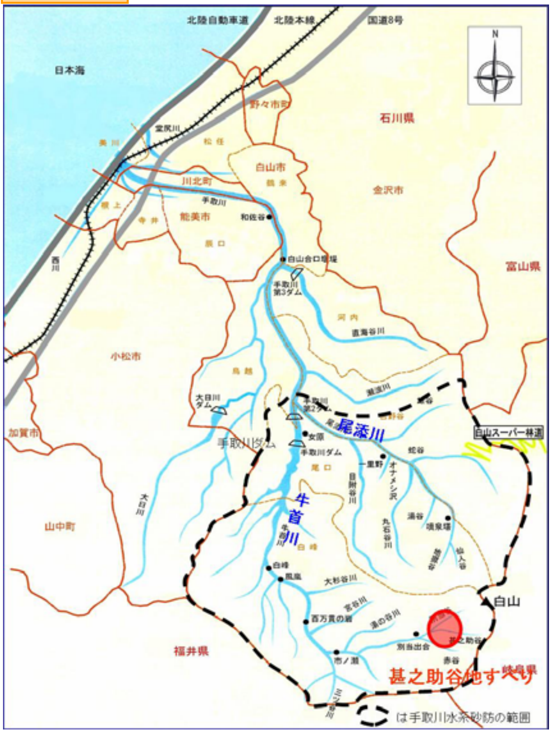
事業着手

昭和３７年度

平成 20 年度の事業内容

排水トンネル工、集水ボーリング工を実施します。

位置図



（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

粟津川（あわづがわ）広域基幹河川改修事業（緊急対策特定区間）の促進

石川県小松市（いしかわけんこまつし）

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

粟津川（あわづがわ）は、粟津温泉街を貫流していることから河道断面が狭小で、洪水を安全に流すことができないため浸水被害が発生しやすく、被害が甚大となる河川です。そのため、浸水被害の解消を目的に、放水路トンネル等を実施しています。

整備効果

既往最大の被害が発生した昭和 56 年 7 月の梅雨前線豪雨（床上浸水 29 戸、床下浸水 80 戸）規模の洪水において浸水被害の解消を図ります。

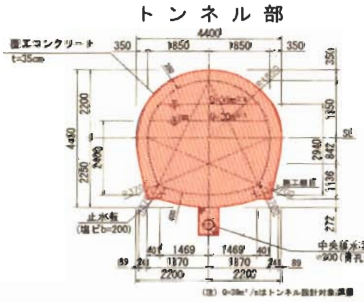
事業着手

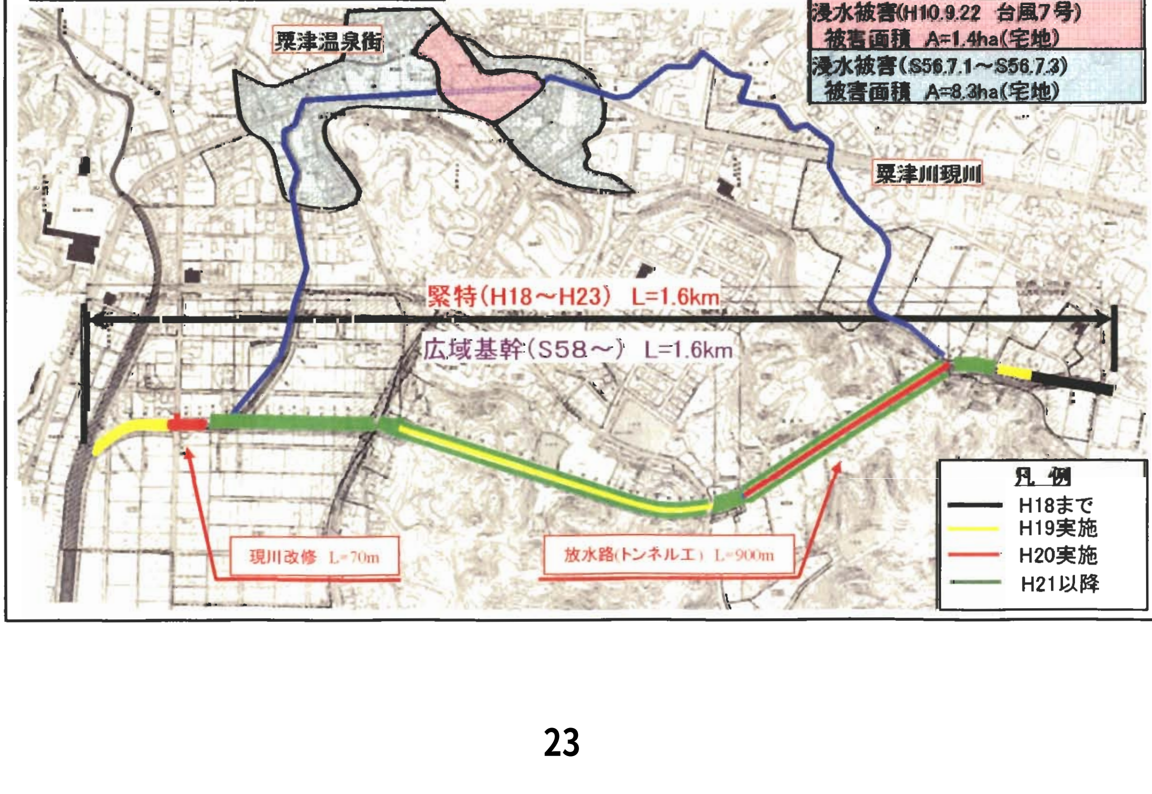
平成 18 年

平成 20 年度の事業内容

昭和 56 年 7 月の梅雨前線豪雨で浸水被害が発生した粟津川について、放水路トンネルの掘削を促進します。

浸水状況【平成10年9月】





（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

卯辰地すべり対策事業の促進

石川県金沢市

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

卯辰地区（金沢市卯辰町地内）は、斜面崩壊が頻発するなど地すべり活動の兆候が見られるようになり、豪雨などにより地すべり災害が発生する危険性が高くなっています。このため、地すべり災害の発生を未然に防止することを目的に、地すべり対策工事を計画的に実施しています。

整備効果

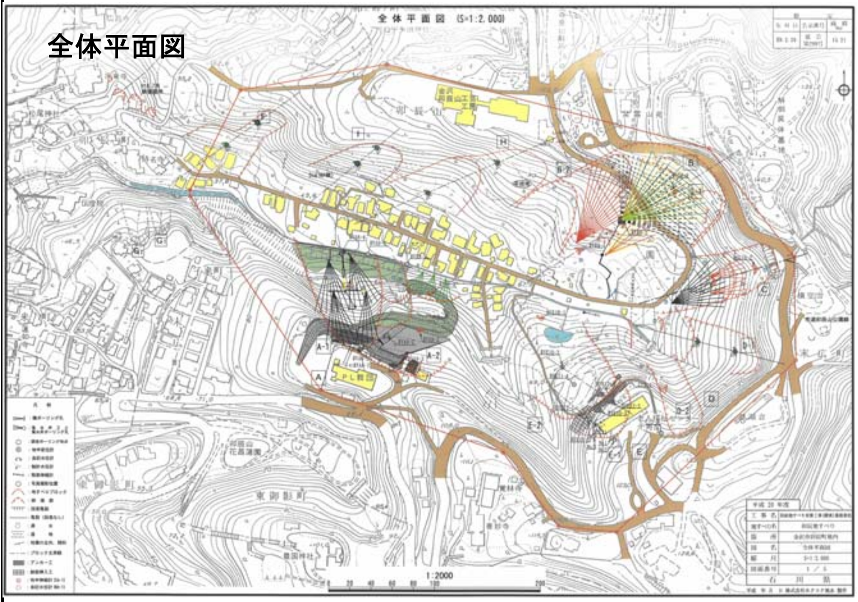
人家６１戸、市道等を土砂災害から保全します。

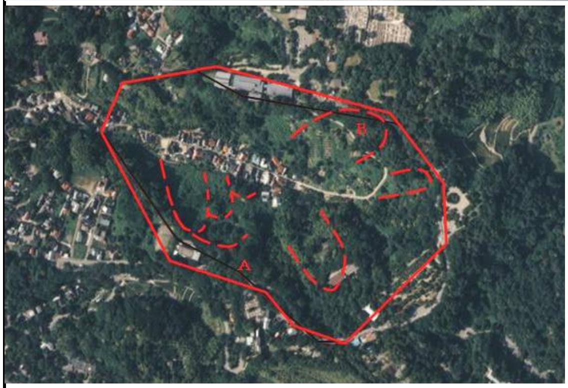
事業着手

平成８年度

平成 20 年度の事業内容

事業の進捗により、地すべりの兆候は減少してきています。
しかしながら、地すべりの発生誘因である地下水が依然として高い状況にあります。





（新規・完成・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

町野(まちの)川総合開発事業（北河内(きたかわち)ダム）の促進

石川県鳳珠郡能登町(ほうすぐんのとちょう)

●安全・安心な地域づくり

事業の概要

北河内ダムは、「洪水調節」「流水の正常な機能維持」「水道用水の確保」を目的とした多目的ダムとして建設する。

整備効果

町野川沿川の洪水被害の軽減を図るとともに、河川維持流量の確保等、流水な正常な機能を維持します。

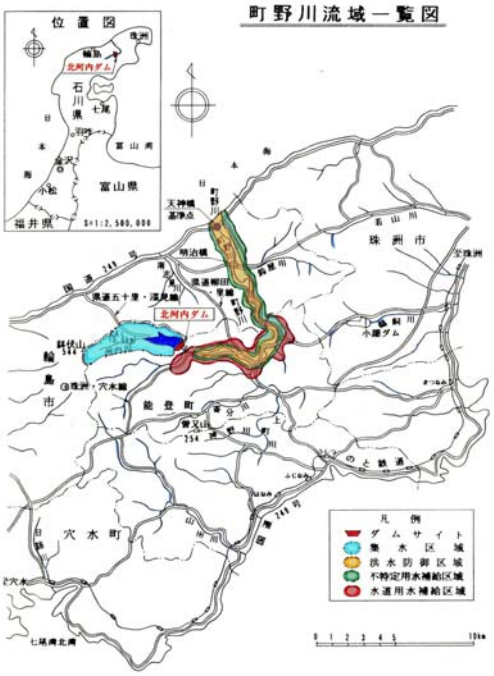
また、能登町に安定した、水道用水を供給します。

事業着手

平成７年度

平成 20 年度の事業内容

平成 20 年度中に本体ダムコンクリート打設を完了し、管理設備工を促進します。

ダムサイト(下流方向から臨む)H19.8.6撮影

北河内ダム完成イメージパース